

令和元年度 一人一人の確かな学力のために

3年

		学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着(まどめの50問テスト90点以上を8割以上)を目指します。そのために、小テストを週1回程度行い、間違えは必ず直す習慣を付けさせます。 国語辞典を正しく引く力や習慣を付けます。そのために、必要ときにすぐ辞書を手にとれるよう、マイロッカーにおき、国語の時間には机上に置く習慣を作ります。 相手や目的に応じて内容が正しく伝わるように、主語述語、段落相互の関係に注意して文章を書く能力を付けさせます。そのために、日記を利用して気付いたことを書く習慣を付け、文章を読み合う時間を取るようになります。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストを定期的に行い、間違い直しを行いました。50問テストでは、90点以上は2〜3割程度にとどまっています。ただ書くだけでなく、意味を意識して練習することを意識させていきます。 国語辞典の引き方を学び、9割の児童が早く引くことができるようになりました。また、意味が分からない言葉が出てくると、自然と調べる姿が見られるようになりました。 日記を利用して気付いたことを書くようにしましたが、文章を読み合う時間を取らず、書く能力が向上しているとは言えません。今後は時間を取るようになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 50問テストでは、90点以上取ることができている児童は、一度目のテストでは3割程度に留まりましたが、再テストを何度も行って8割程度の児童が取れるようになりました。 国語辞典の引き方は正しくできるようになりました。意味の分からない言葉が出てくると、自然と調べる姿も多く見られるようになり、単語を調べる力がつきました。 日記指導だけでなく、学期で頑張った事、今後がんばりたい事など具体的なテーマを与えることで少しずつ具体的な文章を書くことができる児童が増えてきました。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 四則計算の定着(単元末テストで90点以上を8割以上)を目指します。そのために、計算ドリルを家庭学習で取り組ませたり、補習で東京ベーシックドリルを使い、習熟を図ります。個々の理解度を把握し、個別指導を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> テストは技能・知識理解で90点以上は8割程度が取れていますが、思考の問題となると90点以上は3割程度にとどまっています。今後は授業中、考え方を説明する経験をさせたり、問題の意味を考えさせる問題を多く取り入れて、解かせたりしていきます。 2年生の東京ベーシックドリルの定着は、学年全体で77%です。計算問題は90%程度の正答ですが、式を図で表すこと、長さや水の量の単位、表やグラフに表す問題の正答が40%程度なので、補習タイムで繰り返し問題を解き、習熟を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> テストでは、技能・知識理解で90点以上は8割程度が取れるようになりました。基礎基本は定着できた児童が多いです。思考の問題では、90点以上は3割程度にとどまり、問題の意味をとらえることに課題が残りました。2年生の東京ベーシックドリルの定着は、学年全体で平均83%になりました。計算問題は95%程度の正答率になりましたが、表やグラフ、図形問題はまだまだ低いです。3年生後半の単元で前述した2単元の学習を行うので、2年生の学習を想起させ、必要な単語や定義の確認をして理解を確実にしていきます。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 読書の習慣を身に付けさせます。そのために、朝読書の時間、図書室の時間を活用し、本に親しむようにさせます。読書環境を整え、教科に関連した本を紹介したり、マイブックを用意していつでも本を読めるように指導したり、読書貯金箱(読書カード)に記録し、年間で5000ページの目標を与え、随時振り返りをし到達度を確認します。 パソコン技能向上のため、インターネットでの検索、ローマ字入力、簡単な発表資料の作り方を指導し、全員ができるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書や空いた時間などを使って読書に親しんでいます。総合的な学習の時間や読書科で図書室で調べ学習に進んで取り組むことができました。また、マイブックを全員が用意しています。5000ページ達成した児童も20人程度います。 総合的な学習の時間を使って、インターネットを使っての調べ学習も行っています。ローマ字での入力、資料の作成は、国語で学習を行う2学期以降行っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動では、今までより細かい文字で書かれている小説を読んだり、図鑑で細かいところまで読んだり読書の幅が広がりました。調べ学習では、目次、索引を使った調べ方を全員ができるようになりました。5000ページ達成した児童は50人程度になりました。 インターネットを使って調べることができるようになったり、ネット使用時のマナーについての知識も学ぶことができました。 ローマ字入力は完璧にできる児童はならず、タイピング練習を重ねて少しずつ打てるようになってきている段階です。
思考力・判断力・表現力		<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題解決をする児童を目指します。そのために、授業のはじめにめあてを明確にし、見通しをもって学習に取り組めるようにします。課題解決の流れが分かるようにノート指導を行います。授業のおわりには、児童が、自分の言葉でまとめられることを目指します。 自分の考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、考える時間を十分確保したり、小グループで話し合い活動を行ったりします。友達の意見を受けながら考えを発表している児童を賞賛し、学び合う力が身に付くようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のめあてを示し、課題を明確に理解し、めあてに向かって学習に取り組んでいます。ノートも黒板の文字を写すだけでなく、自分の考えを入れて書く児童も見られています。手本を示しながら、全員ができるようにしていきます。 伝え合う時間を取ることで、7割の自分の考えを伝えることができます。うまく伝えられない児童には、友達の発表の仕方の良い所を示すなどして広げていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習している単元やその時間に身に付けるべきめあてを明確にすることで、学習に集中して取り組むことができました。まとも自分たちのことばでまとめようとするようになったり、ノートも学習の流れがわかりやすいよう書いたりする児童が3〜4割程度と増えてきました。 発表等で自分の考えを入れて伝えることができる児童が8割以上に増えました。友達の良い所を真似したり、「なぜなら」「次に」など接続語を入れて話すことができるようになりました。
	学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> 話す・聞く態度を意識できるようにします。そのために、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手を見てうなずきながら最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。 家庭学習の時間を、毎日45分間(15分×3年生)取り組むことを目指します。そのために、児童の実態に応じて自主学習を推奨したり、模範となる児童の取り組みを紹介し、参考できるようにします。 家庭学習の提出率を毎日95%以上目指します。そのために、未提出児童には声掛けや家庭への連絡をおこなったり、児童の実態に応じて休み時間や放課後に指導したりします。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す聞く態度を常に意識しているのは、3割程度にとどまっています。途中で勝手に話すのではなく、最後まで黙って話を聞くということを常に意識させていきます。 家庭学習期間では、目標の45分間は8割ほどの児童が取り組みました。 宿題は、毎日8割の児童が提出しています。出していない児童には、声掛けをすると、出てきますが、毎日の提出が定着できるようにご家庭でも声掛けしていただくと助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す聞く態度はとてよくなり、8割の児童が常に意識して話を聞くようになりました。最後まで黙って話を聞く力が付きました。 家庭学習期間では、目標の45分間は8割ほどの児童が継続して取り組んでいます。 宿題の提出は、毎日8割程度の提出率です。家庭学習期間になると意識をしますが、それが継続に結びつけられるようにしていく必要がありました。